

森林の大切さ学ぶ公開講座 来月27日から京都で

西日本有数の原生林を残す、京都大の芦生(あしゅう)研究林(京都府南丹市)に泊まり込んで森林の大切さについて学ぶ公開講座「森のしくみとその役割―今、芦生の森で!」が、7月27日から3日間の日程で開かれる。中学生以上が対象で、研究林を持つ同大学フィールド科学教育研究センターは参加者を募っている。

実際の原生林の姿について研究者の講義を受けるほか、散策しながらシカ被害など、現在の森林の課題を探る。

費用は受講料8200円のほかに、宿泊費(芦生山の家に宿泊)など約1万7000円が必要で、交通費は別。中学生は保護者同伴。往復はがきに住所、氏名など必要事項を記入して申し込む。6月30日必着。問い合わせは同大学農学研究科等教育・研究協力課(☎075・7533・6411)へ。